

第4回立教サイエンスカフェ



SCOLA
Science
Communication
Office for
Liberal Arts

虫学旅行

地理学者と味わう
昆虫食と伝統文化

ゲスト

野中 健一さん

立教大学 文学部 教授



日時

9/29 (木)

18:00~19:30

(17:30 開場)

会場

立教大学

池袋キャンパス

12号館2階

リサーチコモンズ

定員：20名 (先着順・参加無料)

定員に達し次第締め切らせていただきます

聞き手：立教大学 SCOLA SIP 1 期生

主催：立教大学 理学部 共通教育推進室 (SCOLA)

問合せ：<http://s.rikkyo.ac.jp/SCOLAinfo>

協力：立教大学 リサーチ・イニシアティブセンター

申込み：右の QR コードまたは以下の URL からお申し込みください

<http://s.rikkyo.ac.jp/mushido>

※マスクの着用をお願いいたします

※当日体調が優れない場合は参加をお控えください



昆虫を、食べる。「え、ホント？信じられない！！」「ああ、今流行ってるコオロギとかー？」そう思ったあなたに、ぜひ参加していただきたい。確かに今注目！の昆虫食ですが、実は昔から世界のあちこちで親しまれている文化なのです。食料がないから、あるいは環境に優しくて栄養価が高いから、虫を食べるのではありません。なんととっても「おいしいから」食べられてきたのです。

今回のサイエンスカフェは、「修学旅行」をモチーフにした「虫学（ちゅうがく）旅行」。ゲストは、昆虫食文化を通して「自然と人間のかかわり」について研究している、環境地理学者の野中健一さんです。旅の中で野中さんからお話を聞いたり虫を実際に食べたりしながら、メキシコやラオス、日本などその土地に根付いた昆虫食文化を一緒に体験しませんか？

昆虫を、食材としても考える。あなたの日常に面白くて、もしかすると新しい視点が加わる「虫学旅行」に、ぜひご参加ください。

野中 健一（のなか けんいち）さん



立教大学文学部教授、環境地理学・生態人類学者。北海道大学、名古屋大学、三重大学、総合地球環境学研究所を経て2007年より現職。自然と人間とのかかわり合いをテーマに、身近な生物の利用や環境認識、地域文化資源について、地理学の視点から研究している。日本、東南アジア、南部アフリカ、パプアニューギニア、メキシコなど世界各国でフィールド調査を行う。祖父がへぼ（岐阜県方言でクロスズメバチのこと）採り名人で、幼少時からへぼに馴染む。主な著書として『民族昆虫学』（東京大学出版会）、『虫食む人々の暮らし』（NHK出版）などがある。多趣味で、音楽活動や鉄道模型ジオラマ作りも好き。

直近の立教サイエンスカフェ

「小さなコケの大きな世界 ～発生進化学者とたどる進化の旅路～」

ゲスト：榊原 恵子 さん（立教大学 理学部 準教授 / リサーチ・イニシアティブセンター副センター長）

日 時：2022年9月24日（土） 14:00～15:30 ※13:30 開場

会 場：立教大学 池袋キャンパス 12号館 2階 リサーチ commons

お申込：<https://science.rikkyo.ac.jp/mosscafe/>

主催

立教大学 理学部 共通教育推進室 (SCOLA)

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

※SCOLA SIPは、学年の枠、分離の枠を超えて学び合う、サイエンスコミュニケーション実践プログラムです